

令和4年1定 一般質問 開催状況

開催年月日 令和4年3月11日

質問者 日本共産党 真下 紀子 議員

担当部課 総合政策部交通政策局交通企画課

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>四 北海道新幹線等について</p> <p>(一) 北海道新幹線の道負担の見通しについて</p> <p>毎年100億円近い営業損失いわゆる赤字を出し、その累計額は2016年の開業以降、約486億円に上ります。この北海道新幹線建設費の道負担の累計額は1,662億円、2020年度は単年度で221億円に上ります。また、2021年度の新幹線鉄道整備費予算は243億円、新年度は376億円と133億円も増え、伸び率は155%となっています。札幌延伸の着工時の事業費総額は1兆6,700億円と推計されておりますが、道の事業費負担について、これまでいくら負担し、今後の見込みを、どのような考えで、どう推計し、その額はいくらになっているのか、お示してください。</p> <p>(二) 北海道新幹線の道負担金の情報開示について</p> <p>これまで、度重なる計画変更に安穏と同意してきた知事ですが、直轄事業負担金同様、負担金の範囲の考え方や基準、詳細な内容の説明など、どのように情報開示されているのですか。</p> <p>また、地方負担金の使途や対象範囲の見直しを、国にどのように求めてきたのか、伺います。</p>	<p>【交通企画監】</p> <p>新幹線の整備に係る地方負担についてであります。平成23年に国が行った試算では、新函館北斗・札幌間の総事業費は1兆6,700億円とされ、令和4年度までに約5,300億円の事業費が配分されており、このうち地方負担額については、約1,400億円となっております。</p> <p>また、令和5年度以降、新幹線工事が完成するまでの地方負担額につきましては、各年度の事業費や建設財源となるJRからの貸付料の北海道への配分額が明らかになっていないことなどから、正確に見込むことは難しいところであります。現時点では、貸付料や国費などを一定の条件により推計し、約2,100億円と見込んでいます。</p> <p>【交通企画監】</p> <p>新幹線の整備についてであります。新幹線の建設にあたっては、全国新幹線鉄道整備法の規定に基づき、鉄道・運輸機構が工事の区間や工事の方法、予算額等を記載した工事实施計画の作成又は変更をする場合は、国土交通大臣の認可を受けることとされており、新函館北斗・札幌間においても、認可の都度、その内容について、国から示されています。</p> <p>また、毎年度の工事費につきましては、前年末に機構から概算額が通知されるとともに、精算時などに道と機構との間で工事の進捗状況や、工事費などの確認を行っているほか、必要に応じて、工事内容に関する情報提供を求めるとともに、機構や沿線自治体などで構成する北海道新幹線建設促進連絡・調整会議などにおいて工事の進捗状況や課題に関する意見交換を行っています。</p> <p>道といたしましては、地方負担の軽減が図られるよう、国に対し、貸付料はもとより、公共事業の拡充など、更なる財源確保や財源措置の拡充について求めてきており、引き続き、あらゆる機会を通じ、強く要請してまいります。</p>

